

# えがおかがやく

令和7年度  
南越前町立河野小学校  
学校だより

第51号 令和8年1月9日

## 3学期の スタート!

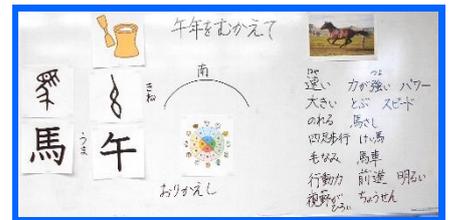
新年あけましておめでとうございます。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。  
1/8、久しぶりに子どもたちの元気な顔が見られました。児童玄関では、「おはようございます。」の他に「あけましておめでとうございます。」の声も聞かれ、明るいあいさつに大変うれしくなりました。早速、授業が始まり、通常の学校の様子に戻ってきました。子どもたちは、一人ひとり、はりきって活動していました。



## 始業式

1/8(木)に始業式を行い、一年のはじめにあたって次のような話をしました。

- ・良いお正月を迎えられましたか。今日は、みなさんが元気に登校できてよかったです。
- ・さて、これは、何に見えますか。(古代文字クイズ1) → ㊦馬・目・たてがみ・体・足  
馬の姿から昔のこの文字が生まれました。そして、今の「馬」という漢字になりました。
- ・今年はいま年ですね。漢字でどう書くかな。 → ㊦「午」  
昔の文字はこれです。何に見えるかな。(古代文字クイズ2)
- ・お餅つきの際に使う「きね」です。「きね」は、高く振り上げて下ろすので、太陽の動きと似ていることから、折り返しの意味になりました。この文字が「午」という漢字になりました。そして、太陽がいちばん高くなる時間や方角(南)を示す記号として、使われました。
- ・では、「午」と「馬」のつながりは何でしょう。  
大昔の中国では時間や年、方角を表す記号を十二支で表すことにしました。そして、身近で覚えやすくするために、動物を当てはめました。
- ・十二支が言えますか。 → ㊦ね、うし、とら、…
- ・「午」は、何番目かな。 → ㊦7番目
- ・十二支の真ん中で折り返しの「午」に選ばれたのが、力強く走る馬です。太陽がいちばん強くなる南の方角とも相性良くぴったりだと考えられたと言われています。つまり、「午」に後から「馬のイメージ」がつけられたというわけです。
- ・「馬」でどんなことをイメージしますか。 → ㊦速い・力が強い・大きい・とぶ・乗れる…  
他に、「行動力・前進・明るい・視野が広い(目が顔の横にある)・挑戦」というものもあります。
- ・午年を迎えて、どんな年にしたいですか。「うま」にちなんでキーワードを一つ使って考えましょう。  
～ ㊦ペアで → 全体で (たくさんの子が発表) ～
- ・ぜひ叶えてください。みなさんにとって良い年になるように願っています。



子どもたちは、しっかり話を聞き、反応していました。よく考え自分の言葉で伝えることができているので、大変うれしかったです。

明るい年に  
したいです。

馬のように、走る  
のが速くなりたい  
です。



行動力をもっ  
て、前進する年  
にしたいです。

いろいろなこと  
に挑戦する年に  
したいです。

今年は、中学生になる  
ので、難しいことにも  
挑戦したいです。